



2023年6月8日

関係各位

拝啓

日頃より一般社団法人CWAJの活動にご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。

CWAJは、2024年度も、海外留学大学院女子奨学金、外国人留学生大学院女子奨学金、視覚障害学生奨学金、視覚障害学生海外留学大学院奨学金の受給者を募集します。

ポスターを同封いたしますので、学生の皆様へご案内いただけますと幸いです。

なお、海外留学大学院女子奨学金に関しましては、現地に渡航し対面で授業を受けることが必須となっており、日本国内に在住しながらのオンライン受講は留学と認めておりませんことをご承知おきください。

2024年度CWAJ奨学金の募集要項は7月以降、CWAJウェブサイト（www.cwaj.org）に掲載いたします。

CWAJ奨学生は、年間一定額を超える他機関からの奨学金を重複して受給することはできません。他機関からの奨学金受給限度額は下記の通りです。

- | | |
|--------------------|----------|
| ● 海外留学大学院女子奨学金 | 年間 200万円 |
| ● 外国人留学生大学院女子奨学金 | 年間 150万円 |
| ● 視覚障害学生海外留学大学院奨学金 | 年間 180万円 |
| ● 視覚障害学生奨学金 | 年間 60万円 |



ご不明の点がございましたら、Scholarshipinquiry@cwaj.org まで、お問い合わせください。

敬具

CWAJ 奨学金委員会

奨学金担当役員 福間 美雪

奨学金委員長 クリスティン・ヒューズ

田中 紀子

College Women's Association of Japan

CWAJ website: www.cwaj.org

CWAJ Scholarship Committee
CWAJ Center
2-24-13-601 Kami-Osaki, Shinagawa-ku
Tokyo, Japan 141-0021

CWAJ 奨学金委員会
CWAJ センター
〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-24-13-601
Scholarshipinquiry@cwaj.org



College Women's Association of Japan

CWAJ Scholarship Program

2024年度CWAJ奨学金

The College Women's Association of Japan (CWAJ),

a volunteer organization of international women dedicated to encouraging educational and cultural exchange, has supported hundreds of students since 1949.

In 2024, CWAJ will award scholarships in the following categories:

CWAJ Graduate Scholarship for Japanese Women to Study Abroad and CWAJ Cartier Scholarship

CWAJ 海外留学大学院女子奨学金

Amount: ¥3.0 million
支給額: 300 万円

For Japanese national or special permanent resident women to study for a graduate degree taught in English at a university or research institution outside Japan.

Applications must be in English.

Application Period: October 16 - 23, 2023
出願期間: 2023 年 10 月 16 日 - 23 日



CWAJ Graduate Scholarship for Non-Japanese Women to Study in Japan

CWAJ 外国人留学生大学院女子奨学金

Amount: ¥2.0 million
支給額: 200 万円

For non-Japanese women to study for a doctoral degree at a Japanese university or research institution.
Applications must be in English.

Application Period: October 02 - 09, 2023
出願期間: 2023 年 10 月 02 日 - 09 日



CWAJ Graduate Scholarship for the Visually Impaired to Study Abroad

CWAJ 視覚障害学生海外留学大学院奨学金

Amount: ¥2.0 million
支給額: 200 万円

日本国籍または特別永住権を持つ
視覚障害のある男女で、
海外の大学・大学院等へ留学を希望する者
出願期間: 2023 年 10 月 30 日 - 11 月 09 日



CWAJ Scholarship for the Visually Impaired to Study in Japan

CWAJ 視覚障害学生奨学金

Amount: ¥1.0 million
支給額: 100 万円

日本国籍または特別永住権を持つ
視覚障害のある男女で、
日本の大学・大学院で勉学を希望する者
出願期間: 2023 年 10 月 30 日 - 11 月 09 日



All applicants must reside in Japan. No applications will be accepted from abroad.

応募者は日本に在住していること。海外からは応募できません。

For more information, please read the QR codes above and visit our website.

詳しい内容については、上記 QR コードを読み取りウェブサイトでご確認下さい。



COLLEGE WOMEN'S
ASSOCIATION OF JAPAN

2022 – 2023 Annual Report

APRIL 2023



—CWAJ国際女性デー・トークイベントにて:
宮地純 カルティエ ジャパン プレゼンター&CEO (左)と
石川凜 2023年度CWAJ Cartier奨学生

速報

CWAJ Cartier奨学金

CWAJ Cartier奨学金は、ビジネスや起業においてのリーダーシップを高めるために海外の大学院で学位取得を目指す日本女性を対象としています。2023年度CWAJ Cartier奨学金は、石川凜さんに支給されることになりました。同奨学金でオックスフォード大学でMBAを取得する予定です。京都大学農学部で食料・環境経済学を専攻した石川さんは、グローバルな食料問題を解決することを目標に掲げ、持続可能な農業を実践する生産者を支援するために、消費者が直接購入する「コミュニティ支援型農業（CSA）」の理念を応用したECプラットフォームの事業開発に取り組んできた、意欲的な女性です。

CWAJ奨学金制度50周年 — 引き継がれるバトン

1972年、札幌で冬のオリンピックが開催され、沖縄がアメリカから日本に返還された年に、世界で活躍できる日本人女性リーダーの育成を目的に掲げたCWAJ奨学金制度が発足しました。海外に留学する日本人女性を対象とした「CWAJ海外留学大学院女子奨学金」(SA)です。それから9年後の1981年には、同じ目標を胸に海外から日本に留学してきた女性を対象に「CWAJ外国人留学生大学院女子奨学金」(NJG)が開設されました。2022年は、そのSAが創設50周年、NJGが41年目を迎えた記念すべき年でした。SAは通算145名、NJGとそれに類するプログラムでは通算203名の女性が、CWAJ奨学金に支えられて社会進出を果たしたことになります。1978年には、日本で最初の視覚障害学生だけを対象とした奨学金も開始し、現在まで続けています。

災害支援も奨学金で

日本は災害の多い国です。CWAJは、大災害にあたって被災した学生が学業をあきらめることのないように、奨学金を通して復興を助けてきました。阪神淡路大震災では2年間、東日本大震災では福島看護学生を対象とした特別な奨学金を新設し、さらにパンデミックでは看護学生を対象地域を首都圏へと広げて、合計12年間にわたって支援を続けています。アート対象のプログラムや渡航費援助も加えると、CWAJが勉学を支えた学生は総勢900名近くにのぼります。

元奨学生に支えられて

過去の奨学生の多くと何年たっても強いきずなで結ばれているのは、CWAJの誇りです。元奨学生たちはこれまでも寄付などを通してCWAJ奨学金プログラムを力強く支えてきましたが、嬉しいことに、近年は会員になって貢献してくれるケースも増えてきました。多忙な仕事の時間を割いて役員として会の運営に携わる人、委員会のトップとして、あるいは応募書類の翻訳、技術力を生かしてオンライン活動や SNS のサポートをする人など、さまざまな形でCWAJの活動の一翼を担っています。このように社会に出て活躍する元奨学生たちが、今度は仲間として後輩のためにボランティア活動に従事してくれるのは、「常に前へ」というCWAJ精神の反映であり、会の新たな活力となっています。

2023年には、これまでの奨学金に加え、起業家精神を持つ女性を支援するために、カルティエ ジャパンのご寄付により新たに CWAJ Cartier奨学金が設けられ、石川凜さんが選ばれました。CWAJのパイオニア精神をさらに飛躍させる新しい奨学生の今後の活躍が楽しみです。

ご支援・ご協力をお願い

CWAJは年間を通して、教育・奨学金プログラムへのご寄付、並びに遺贈によるご寄付を受け付けております。皆さまからのご支援によりこれからの若者が大きな夢を叶えることができるのです。

2022年には、かねてより女性のエンパワメントに取り組んできたカルティエ ジャパンより、CWAJの活動に共鳴して多大なご寄付をいただきました。同じくイタリアを代表するファッションブランドのロロ・ピアーナ ジャパンが、50年にわたり女性のリーダー育成に注力してきたCWAJの理念と日本の現代版画を世界に紹介してきたCWAJ現代版画展に共感して、女性アーティストをご支援くださいました。

CWAJへのご寄付は、国際交流基金の「特定寄付金制度」を活用して、税制上の優遇措置が受けられます。

ご寄付に関する詳細はメールでお問い合わせください。 donations@cwaj.org



CWAJ会員として活躍する元SA奨学生より



2013年SA
成井諒子
英国留学時の
教授夫妻と共に

「お世話になったCWAJに何かお返しが出来ればと思っております。奨学生候補者のために英訳のお手伝いをさせていただき大変光栄です。」

2001年SA
蔭山麻里子

「CWAJよりいただいた多大なるご支援に対しては今日に至るまで心より感謝しております。」



1986年SA
福原庸子



「ハーバード大学大学院という大きな目標への最初の扉が、CWAJ海外留学大学院女子奨学金でした。そしてこの夢の扉は、更なる高みを目指す道へと導いて下さいました。」

お知らせ

第66回 CWAJ現代版画展 2023年10月18日(水)～22日(日)

ヒルサイドフォーラム
(代官山 ヒルサイドテラス F 棟)

併設展(タイトルは未定)

2023年9月中旬予定

フレデリック・ハリス・ギャラリー
東京アメリカンクラブ (港区麻布台)

オンラインギャラリー

<https://cwaj-gallery.jp/>



2022年度CWAJ奨学金

2021-2022年のCWAJ奨学金は次の10名に支給しました。



CWAJ 看護学生奨学金 (NS) 6名 支給額 各50万円

高橋 七彩 (たかはし ななさ)

国立看護大学校看護学部 4年

日向 桜 (ひゅうが さくら)

神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部看護学系社会福祉士課程 3年

及川 美邦 (おいかわ みくに)

日本医療科学大学保健医療学部看護学科4年

上杉 奈美 (うえすぎ なみ)

国立看護大学校看護部 3年

玉岡 遊亀 (たまおか ゆき)

聖路加国際大学看護学部看護学科 3年

根岸 美砂 (ねぎし みさ)

聖路加国際大学看護学部看護学科 3年

CWAJ 海外留学文化交流大学院女子奨学金 (SA) 1名 支給額 300万円

(この奨学金は国際交流基金の支援を受けています)

平林 藍 (ひらばやし あい)

アギル大学カソル・家族療法修士課程 (カナダ)

CWAJ 海外留学大学院女子奨学金 (SA) 1名 支給額 300万円

中安 優奈 (なかやす ゆうな)

ジョージア州立大学公衆衛生大学院修士課程 (米国)

CWAJ 外国人留学生文化交流大学院女子奨学金 (NJG) 1名 支給額 200万円

(この奨学金は国際交流基金の支援を受けています)

ヤン・イ・スン・アム・フン・アム・フン・アム・フン (イソト・アラト 共和国)

国際基督教大学 (ICU) フー・サイエン博士後課程

CWAJ 外国人留学大学院女子奨学金 (NJG) 1名 支給額 200万円

アム・フン・アム・フン (アム・フン・アム・フン 共和国)

宮崎大学農学部獣医学科修士、医学獣医学総合研究科博士課程

5月のスカラシップ月例会

新年度の奨学生は、毎年5月の月例会で会員や支援者に紹介されることになっています。2022年は引き続きオンライン開催となりましたが、看護学生奨学金を含む新奨学生がアグリ上に集まって、CWAJ奨学金制度50年の歴史がビデオで紹介されました。海外会員や元奨学生たちも加わり、節目の年にぎやかに祝うことができました。



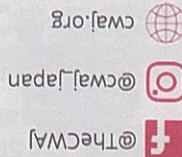
月例会にはCWAJ海外留学大学院女子奨学金(SA)の元奨学生もオンラインで出席しました。

左からSA1期生の小玉美恵子氏(1972)と、今橋真弓(2015)左近喜音(2019)川端佐代子(2020)各氏

CWAJとは

一般社団法人CWAJ (カルジ・ウイメン・アソシエーション・オブ・ジャパン) は、「女性が女性を支える」という理念のもと、CWAJ奨学金、CWAJ現代版画展、視覚障害者や児童養護施設の子どものための英語教育など、さまざまなプログラムを通じて教育・文化の推進に努めている非営利ボランティア団体です。約25か国から集まった約400名の女性会員が、無償のボランティアとして幅広い交流の中で友情を深め、楽しみながら教育・文化活動を行っています。1972年に創設されたCWAJ奨学金は、国内外の女子大学院生・視覚障害男女学生などの約900名に支給され、各界のリーダーを育てています。また、2021年度からはコロナ禍への取り組みとしてCWAJ看護学生奨学金を立ち上げるなど、常に社会のニーズを見据えて活動しています。ボランティア活動は外国人と日本人がペアを組んで、原則として英語で行います。

CWAJ入会についてのお問合せは membership@cwaaj.org へどうぞ。



CWAJ奨学金のための「チャリティコンサート」は、2022年3月21日、WVI (視覚障がい者との交流の会) の主催で、世界的ヴァイオリニストの川島成通氏とピアノ伴奏に恵村友美子氏を迎え、CWAJ奨学金のためのチャリティコンサートが開催されました。延期が続き、3年越しの企画がようやく実現したものです。久しぶりに生演奏を聴く観客も多く、美しい音色にうっとり酔いしれていました。

会場は1921年にクラフ・ロイト・ライク設計で建てられたジャズ・リー様式の自由学園明日館で、重要文化財にも指定されている美しい建物です。当日は、東京都による座席数の制限で使用できる席はほぼ埋め尽くされたのでコンサートとなり、視覚障害のある観客も大勢来場しました。JR目白駅から自由学園明日館までの道順は、「認定NPO法人こぼの道案内」がCWAJ会員とともにあらかじめ下見を重ねて作成した、視覚障害者のための音声による道案内アプリ、「こぼナビ」に登録してご利用できました。8歳のときに薬の副作用で視覚に重い障害を負いながらも、並々ならぬ努力でピアノを克服し、ソリストとして世界中で活躍する川島成通氏の演奏は、会場の雰囲気ともよくマッチして、とても感動的なものでした。会場に鳴り響く拍手に応えてアスコム曲が3曲も披露され、コンサートは大成功のうちに終了しました。コンサートへの純益は、全額がCWAJ奨学金および教育プログラムに充てられました。



奨学金のための「チャリティコンサート」



6月には、元駐米大使の「ガイキョウ・ボウジツ」氏が、「責任ある企業行動」について講演。その後まもなく軍事政権による同氏の拘束が報じられて心配しましたが、11月下旬には無事解放されたこと知り、胸をなでおろしました。



4月には、彫刻家の「ケイト・トムソン」氏が、白い大理石の作品やアウトロウドと日本でコミュニティ活動について、快活なトークを魅了しました。



3月は「バンク・オブ・アメリカ」リリントン日本証券の「マリエリ」氏が、2022年後半以後の金融業界の動向を理解するのに絶好のタイミングで、インタビューが催されました。



2月の「佐藤若由」氏による、検索履歴を利用してユーザー属性に合わせた広告を選定するSNSの仕組みについての講演は、多くの会員の興味をかきたてました。



1月は、リベラルな「アフロ」イベント「Celebrating Women in Japan」の創設者「マコト・アキラ」氏が、各分野で活躍する日本人女性を紹介しました。



12月には、美に3年ぶりの昼食会が丸の内日本外国特派員協会で行われ、「アズミン」で「アズミン」の「アズミン」氏による素晴らしい「アズミン」で1年を締めくくりました。



11月には「ユークラ」と山中温泉を往来する「ハンナ・キルシ」氏が、高齢化が進む山村での生活に欠かせない工芸品や文化活動について語り、自身の体験と山中温泉に住む人々について出版した本の一節を紹介しました。



10月はCWAJ現代版画展のキックオフとして代官山レトリナルスタジオで、銅版画作家の「柳澤紀子」氏が生涯を通じて取り組んでいく「アート」について語り、対面の月例会が開催されました。



9月には上智大学の「アグネス・サラー」教授が、政治目的による操作も含め、歴史認識を形成する要素について興味深い講演を行いました。

CWAJの月例会では、2022年も「アグネス」豊かな講師による「アグネス」が開催されました。10月と12月を除いては、すべてオンラインで行われました。

月例会プログラム



再関することが一歩の願いです。
もやはり、一日も早く以前同様に、毎月の訪問を
読み聞かせの時間を持つようになり、それが、
子どもたちが絵本のお話を聞きたいときにはいつでも、
した。ホームの先生方は、このQRコードを利用して、
「ト」して、絵本の裏表紙に貼付することを始めま
が、絵本をページごとに英語の原文と日本語訳を音読し、それをQR
ながら自然に英語に触れられるような品々を贈りました。新しい試みとしては、ホムニア
クリスマスや折々の時節には、英語の絵本やゲーム、英語をあしらった小物など、楽しみ
2022年は2度の施設訪問に加え、子どもたちが英語学習から遠のいてしまわないように、
英語指導に取り組みしています。
「英語」の目標のもと、西東京市の養護施設、聖ヨゼフホームに暮らす子どもたちへの
CWAJは子どもたちのための英語教育を長きにわたって続けてきました。当初は海外から帰国し
た日本人児童が、英語力を保つための教室を主催していましたが、2018年からは「楽し
く英語」の目標のもと、西東京市の養護施設、聖ヨゼフホームに暮らす子どもたちへの
英語指導に取り組みしています。

子どものための英語支援の会 (EOC)

視覚障害者との交流の会 (VVI)は、視覚障害のある人たちに英語による学びと楽しみ
の機会を提供しています。
2022年は、筑波大学附属視覚特別支援学校高等部の生徒向けの「アグネス」に「英
会話パートナー」(English Conversation Partners, ECP)が加わりました。オンライン
電話セッションを利用して、ボランティアと1対1で会話をすることで、英語で話す自信を
養おうというものです。実用英語技能検定(英検)試験準備の模擬面接は、2回実
施し、29名の生徒が参加しました。
日本視覚障害者職能開発センターでは、英語力向上のための講座を週2回行っ
ています。2022年は年間を通して、対面で行うことができました。
7月には、シネマ・クラブ「アグネス」の「アグネス」を開催しました。これは、イマホノ音
声ガイドや字幕付き上映を常時行う「ユニバーサルシアター」です。参加者の方々と英語の
映画を日本語音声ガイドつきで鑑賞した後、英語で感想などを語り合い、楽しい時を過
せました。
VVIユニバーサルは電子版点字版で発行し、VVIとCWAJのイベント情報を181名の
視覚障害者に届けました。

視覚障害者との交流の会 (VVI)

外国人留学生との交流の会 (FSC)



FSCは日本で学ぶ留学生を対象に日本の文化や習
慣を理解し、楽しんでいただくための多種多様な活動
を行っています。またFSCのボランティアはメンバーとして、
留学生への個別のサポートも行っています。

2022年は、3月のCWAJ奨学金のためのチャリティ
コンサートを皮切りに、4月は「アグネス」の「アグネス」
アグネスを訪問しました。5月はサンクトル美術館の
北斎展に、7月恒例の歌舞伎鑑賞会では、総勢44
名で国立劇場の歌舞伎鑑賞教室に参加しました。9
月はオンライン講座「着物のすべて」を開催。ヨーロッパ
在住の元FSC学生たちが参加して、男女さまざま、
色彩豊かな和服について学びました。10月はCWAJ
現代版画展の鑑賞と、CWAJの活動の説明を受けた
後、会場近隣の旧朝倉家住宅を足踏のぼり、素晴らしい建築様式や日本庭園の散策を楽しみました。12
月の大宮盆栽美術館と盆栽村訪問では、CWAJ 会
員や元FSC学生も含めた13名が見事な盆栽を堪能、
栽培技術の高さに感銘を受けました。